

運輸業

営業収益

176,183百万円

(前期比 1.9%増)

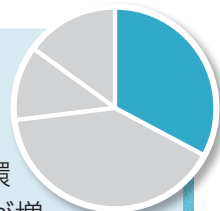
営業利益

28,122百万円

(前期比 1.7%減)



売上高構成比

33.0%


当社の鉄道事業において雇用環境の改善等により定期的な輸送人員が増加したほか、箱根エリアの観光需要が好調に推移したことなどから、営業収益は増収となりました。

一方、営業利益は、当社の鉄道事業において費用が増加したことなどから、減益となりました。

流通業

営業収益

214,479百万円

(前期比 2.2%減)

営業利益

4,647百万円

(前期比 46.4%増)



売上高構成比

40.2%


百貨店業において訪日外国人による免税売上が増加したものの、ストア業等において、外部への株式譲渡に伴い(株)ビーバートザンが連結除外となったことなどから、営業収益は減収となりました。

一方、営業利益は、百貨店業において費用が減少したことなどから、増益となりました。

※売上高構成比は外部顧客に対する売上高に基づき算出しております。

不動産業

営業収益

68,578百万円

(前期比 1.9%減)

営業利益

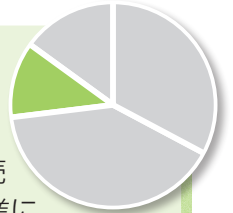
12,538百万円

(前期比 1.3%増)



売上高構成比

11.9%



不動産分譲業において住宅販売戸数が増加したほか、不動産賃貸業において前期に取得した物件の賃料収入が寄与したものの、UDS(株)を不動産業からその他の事業へセグメント変更したことなどから、営業収益は減収となりました。

一方、営業利益は、不動産賃貸業における増益が寄与したことなどから、増益となりました。

その他の事業

営業収益

105,023百万円

(前期比 5.5%増)

営業利益

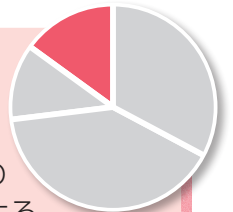
5,967百万円

(前期比 5.4%増)



売上高構成比

14.9%



UDS(株)を不動産業からその他の事業へセグメント変更したことによる影響のほか、ホテル業において、シティホテルの「ハイアット リージェンシー 東京」で、前期に実施した改修工事に伴う売り止めからの反動があったことに加え、箱根のリゾートホテルも好調に推移したことなどから、営業収益は増収となりました。

これに伴い、営業利益も、増益となりました。